

食べることは、 交流すること。

新しい出会いを経て、気の合う仲間たちとおしゃべりしながら――。

三芳町で活動する料理・お菓子作りサークルの皆さんにお話を伺いました。

※取材当時、感染対策により公民館では飲食できないため、作った料理やお菓子は持ち帰っています。

モンブラン



おやつタイム^{なごみ}和



はなみずき会



この団体では、毎月第3火曜日の9時から中央公民館でお菓子作りをしています。和、洋に問わず色々な季節のお菓子やパン等を作り、メニューは皆で決めているそうです。「2007年にモンブランができました。当時はこういうサークルはまだ少



なく、地域の皆で横の繋がりを持つために作りました。」代表の志村さんは話します。「定年して家にいるよりは、ここで皆でお菓子作りをした方が楽しいから入りました。お菓子を作るよりも皆でお話をするのがメインのようになっていて、冗談を言い合いながらわいわいやっています。」河合さんは嬉しそうに話してくれました。くるみまんじゅうを作りながら、皆さんの楽しそうな声が響きます。

おやつタイム和（なごみ）がこの日作ったのはベイクドチーズケーキ。月に一度集まり、講師の瀧澤さんからお菓子作りを習うサークルです。家族の話や「今度何を作ろうか」と雑談が飛び交いながら、手際よく生地が作られていく。メニューは、皆で話し合っ



家に持ち帰ってくるのを楽しみにして、家に帰ると今日は何を作ったの？と聞かれます。」とメンバーの野毛さんは話します。お菓子を作ること、食べることを通して生まれる、友達や家族とのコミュニケーションが、皆さんの暮らしの中に息づいています。

月



に一度集まり、持ち回りで考えたメニューを皆で作っています。できるだけ季節の野菜や、地元のものを使うように心がけているそうです。「同じ料理でも人によって作り方が違ったりする中で、皆であれこれ話し合いながら作っていくのが面白いんです。」とメンバーの皆さんが話してくれました。「この会を作ったきっかけは、家にこもりがちな地域の年配の人達を引っ張り出すこ

①普段は20人ほどで活動している。②あれこれと相談しながら作るのも楽しい。③通常は主食からおかずまで作るが、取材のために急速集まって作っていただいたサラダ。

とでした。」。そう語るのには、代表の栗林さん。年配の人達のための活動は色々ありますが、体操など身体を動かすことが不得意で参加しない人でも、料理して皆で食べるなら来てくれる人がいると言います。「食べる専門の男性メンバーもいますよ。足腰が悪い人は迎えるに行きます。こうして集まることで、お互いに助け合える関係が生まれるんです。」。皆で作った料理を食べながら、地域の輪が広がっていきます。